



第20回 日本体験学習研究会全国大会 大会報告

発行：第20回日本体験学習研究会全国大会運営委員会事務局

発行日：2019年8月1日

ハタチの今を共に祝おう

第20回日本体験学習研究会全国大会を終えて

2019年7月6日(土)・7日(日)の両日、日本体験学習研究会第20回全国大会が「ハタチの今を共に祝おう」のスローガンのもと南山大学にて開催されました。

1999年11月27日(土)・28日(日)に、南山短期大学にて星野欣生先生を大会委員長に第1回全国大会が開催されました。1973年にTグループを中心としてラボラトリー方式の体験学習をベースに人間関係を冠する全国初の高等教育機関が誕生しました。それから25年あまり経過した2000年4月に南山大学人文学部心理人間学科(南山大学文学部教育学科とともに新しい学科として改組される)が誕生する運びになっており、本研究会も南山大学で引き継がれてきました。

長年の蓄積されたラボラトリー体験学習の知見の発信と共に巷でさまざまな形の体験学習が行われている人々との交流を通して、体験学習に関する研鑽が相互にできる機会を全国規模で行おうとする、ある種のムーブメントの始まりであったと言えるかも知れません。

その間には、2004年4月に南山大学人間文化研究科教育ファシリテーション専攻といった大学院の設置もされました。短期大学教育から大学教育に、そして大学院教育にまで、ラボラトリー方式の体験学習を巡って発展することができました。このことは、南山短期大学、南山大学といった「人間の尊厳のために」をモットーとする南山学園のもとでの実践だった故に、ラボラトリー方式の体験学習による人間中心の教育の実践が可能であったと考えています。

第1回開催からほぼ20年が経過し、南山大学を開催校として日本体験学習研究会全国大会の実施は一区切りを付けることになりました。さまざまな状況の変化によってもたらされた「おわり」と「はじまり」の転換点に来ているのだらうと思います。

第20回全国大会の運営委員のメンバーは、精力的に第20回を記念した大会になるようにと「ハタチの今を共に祝おう」スローガンのもと、開会後の全体会では、20回の歴史の中での参加者の出合いを試み、①今の気持ち、②初参加の気持ち、③これまでの大会の思い出や本大会への期待などを話し合った後に紙コップに描き、それらをお昼休みに高くバースディケーキのごとく積み上げていただきました。興味深いエクササイズセッション、レポートセッションを体験し、初日の夕刻は恒例の賑やかで楽しくそして出合いが新たな学びになる懇親会を楽しみました。2日目の最後の全体

会では、実習「Forced Choice」をした後、小さなロールケーキが積み重ねられたスペシャルなケーキが登場し、参加者の皆様とシェアのひとつときを楽しみました。思わず参加者の方から、「今回のテーマは“積み重ね”ですか?」と。大会終了後のポストスタッフミーティング時に、学生スタッフの一言一言、そして運営委員のメッセージは、私にはこれまでの20回と2回の関東大会にわたるすべての会を通して生まれた言葉であるように感じ、心熱くなりました。

本当に1999年から2019年まで、さまざまな人々が集い、さまざまな体験学習と思いを積み重ねながら育ってきた会であったのだろうと思います。その結果、ハタチを迎えることができた思いで一杯です。今日までを支えてくださったみなさまに深く感謝申し上げます。

そしてハタチになった日本体験学習研究会は、2020年より旅に出ることになりました。これまで関わってくださった方々、またこれから体験学習に関心を持ってくださる方々のお力を借りて、新しい土地を旅しながら体験学習が広がっていくことを期待しています。

2020年は、信州長野の方々が開催の候補地として手を挙げてくださいました。

21歳の旅は信州長野のからはじまります。楽しみな一歩です。これからもみなさま方とお会いし、新しい体験学習の展開が生まれ育っていく場を共有していくことができるなら、とても幸せです。

2019年8月1日

日本体験学習研究会第20回全国大会委員長 津村 俊充

オープニング・セッション

オープニング・セッションは、20回を迎えた「日体研」をお祝いする場としてスタートしました。初めての方も、20回連続の方も、3回目の方も一人ひとりが、「日体研」に対して、期待や想いを共有することで「お祝い」としました。

グループは、初参加した回ごとに集まりました。第1回～5回、6回～10回+関東大会2008、11回～15回、16回～20回+関東大会2016と4グループに分かれ、その後4名程度で集まり「期待や想いの共有」が始まりました。

16回からのグループが最多の人数でしたが、印象的だったのは、第1回からのグループが20名程度集まり2番目に多いグループになったことでした。

テーマごとに、話し合ったことを一言で紙コップに記入してもらい、それぞれのグループで話し合ったことを共有していただきました。とても温かい雰囲気スタートを切ることができました。その後サプライズイベントとして、皆さまの一言紙コップは、スタッフでケーキを見立てお祝いのモニュメントとして制作しました。

(文責：服部 剛典)



1 日目の学びのふりかえり

1 日目の終わりに、45 分間という短い時間でしたが、「一日目の学び」をふりかえる時間を設けました。

「今日、体験したことをふりかえてみると、それはどんな色をしていますか？」という問いかけのもと、10 色の色画用紙を手がかりに、一日を思い起こしながら集まり、同じ色で出会った 3~4 人で、それぞれの体験をわかちあいました。

今日一日の体験をわかちあうことで、気づきが広がったり、学びへと深まったり、またまた、明日への希望につながったり…。わかちあいを重ねるごとに、参加された皆さんの声が大きくなり表情豊かになり、D51 教室が明るく温度が上がっていくのを感じた時間でした。

(文責：國武 恵)

2 日間の学びのふりかえり

2 日目の全大会は 2 日間の学びをふりかえる時間として、まずは、参加者一人ひとりが 2 日間どのようなことがあったか、何を感じたかを思い出す時間を取り、その後、「Forced Choice」を行い、それぞれの思いをシェアする時間を取りました。

Forced Choice の質問は 2 つで、一つ目は「2 日間参加してどう感じていますか」選択肢は「ウキウキ」、「ヤルゾー」、「モヤモヤ」、「ドキドキ」、「！！」の 5 つで、同じ場所に集まった人たちで 3~5 名のグループを作り、思いを語ってもらいました。2 つ目の質問は「この 2 日間の学びや気づきを日常生活に活かせそうでしょうか」で、選択肢は「活かせる」、「何とかできそう」、「仲間がいれば」、「少し不安」、「わからない」の 5 つでした。1 つ目の質問同様に、自分の思いを表す場所に集まり、その中でグループを作り話しました。

その後、2 日間を通しての気づきや思いなどを全体で共有する時間を取りました。仲間がいるからこそがんばれる、これからも活かしていきたいという意見や、大学生の参加者からはさまざまな分野の社会人の話を聞くことで、体験学習が実践の場でどのように活かされているのか知る機会になってよかった、などの声が聞かれました。

全体会で 2 日間の学びやこれからのための思いを語った後は、「ハタチの今をともに祝う」時間として、お祝いのケーキを食べながら歓談する時間を設けました。その中で、参加者の方から、「今回のテーマは積み重ねですね。」の声を聞くこともできました。楽しい記念の会になりました。

(文責：鎌田 美保)

会計報告

【収支報告】2019年7月19日現在

大会		【収入の部】		【支出の部】	
大会参加費	320,000	印刷費	95,768		
広告協賛	140,000	通信費	10,415		
その他	3,410	事務局費	160,820		
計	¥ 463,410	大会運営費	154,797		
		その他			
		計	¥ 421,800		

大会収支総計 41,610

懇親会		【収入の部】		【支出の部】	
懇親会参加費	182,000	懇親会費	226,249		

懇親会収支総計 -44,249

全体の収支総計 ▲¥2,639

本大会は、若干赤字となってしまいましたが、収支バランスが適切にとれた会となりました。20回という記念の大会でもあったためか、前回大会よりも多い91名の方にご参加いただき、5社からのご協賛をいただきましたことは、収入の安定につながりました。また、支出の面では、運営委員が手作りのできる部分は100円ショップを活用しながら楽しく準備してきたことにより、適切な範囲に収めることができましたと思います。

本研究会の残高は、第20回大会を終えた今、130万円弱となっています。これまでにみなさまからお預かりした大切なこのお金は、全国各地で次回からの大会を開催していただく際に、運営委員の方々に大きなご心配なく進めていただけるよう、活用させていただきたいと考えております。細かな検討はこれからとなりますので、何かご意見などございましたらお聞かせいただければ幸いです。今後とも、どうかご協力よろしくお願いたします。

(文責：中尾 陽子)

第 21 回大会に向けて

2020 年から日本体験学習研究会全国大会はみなさま方のところを旅することになりました。体験学習に関心をもってくださいの方々の地域を中心に全国大会開催を呼びかけていただき、全国の人々が集まることができればいいなあと考えています。

2020 年は、信州長野に在住の河合宗寛さん、中村伸治さん、岡部泰幸さんが閉会時に開催を宣言してくださいました。日程と場所もこれから決められるそうですが、目安としては今回ぐらいの日程を考えていらっしゃるようです。また、決定しましたら、WEB ページとメルマガ、Facebook などでお知らせします。お楽しみにお待ちください。

(大会運営責任者：津村 俊充)

【第 20 回日本体験学習研究会全国大会 運営委員会】

委員長：津村俊充

委員：鎌田美保、河合宗寛、國武恵、鯖戸善弘、杉山郁子、園木紀子、土屋耕治
中尾陽子、中村和彦、服部剛典、古永範恵、横井れい、横山佳奈子 (五十音順)
(事務局) 水野菊代

共 催：南山大学人間関係研究センター

協 力：心理人間学科合同研究室スタッフ (堀口久美・大仲ひろみ・光岡真里・檜原真理子)
心理人間学科 学生スタッフ

【大会運営委員会事務局】

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地 南山大学経営学科 (中尾研究室内)

TEL:052-832-3111(内線 3843) FAX:052-832-3217

E-mail: nittaiken@gmail.com

Web: <http://www.nittaiken.net/>